

記念講演の開催について

全国総会の第三部として記念講演を約1時間スケジュールに組んでおります。
昨年の東海ブロック会議でも話に出ましたが、静岡地区協議会及び東海ブロックでの主導の元、こういった内容にしていくのかは話し合っていて決めていくとブロック会長よりお話がございました。

2月に本部での理事会議にこういった方向性で進めるのかを報告します

11月東海ブロック会議議事録より抜粋

(折笠会長)

本部の方針は、関係ございません。東海ブロック協議会で進めていくことが大前提です。

この団体には、キーマンになる人間が必要です。

ある地区、もしくはブロックでは現状のままでは維持できないとも言われています。

首都圏中心では、今後進めてはいけないのが現実です。

しかし、東京に本部がある理由として、東京の組合・学校関係が大きなことです。国からの助成金の件もあり、現状、東京でないと運営できない部分もあります。

ここで基調講演を「討論会」にした場合、限られた時間と内容に問題があるでしょう。

現在の理事・委員長に対して面向かって会員が意見を言うことができるでしょうか。言うことだけ言って、言いつばなしになってはいけません。述べたらそれなりの責任がついてくることはわかっております。

では、基調講演を開催した場合、今年の京都での講師費用が11万円でした。果たしてどの程度の方をチョイスできるのでしょうか？

(玉田委員)

基調講演というものは、どこの総会に行っても大体付いてくるものです

静岡として、会員の中からチョイスしてもいいのではないのでしょうか。心に残る講演が必要だと思います(このことが最も難しい)

私がこれまで見て聴いてきた講演は、やはりわかりやすい話が一番である。

会員の共通点として、植物・経営である。こういったジャンルの中からチョイスしたほうがいいのではないのでしょうか。

(折笠会長)

来年は理事の再任がないので今年よりも長く取れます

(玉田委員)

静岡に来てよかった、と思えるような講演が望ましいと思います。

(和田委員)

先日、ある会議の中でスライド等を使用した講演がよかった

植物はさておき、人間関係についての講演も時代の流れとしていいのかもしれない

(早川委員)

私は、植物に関係ない講演がいいと思います

これからの経営の問題点として、財務関係

人間的には、高齢者社会によりウェイトが高まり、医療関係についてはどうでしょうか

この総会には、経営者が集まる場があります

それなりの経営に対する話のほうが有効だと思います

植物の話は、その次ぐらいのレベルだと思います

(渡井委員)

常葉大の教授でピオトープについて詳しい方を知っています。

植物だけでなく、環境を取り巻く動植物・環境すべてがテーマとなることのほうが今後考

え方として必要だと思います

(小林副会長)

先日聴いた話の中でお坊さんの話に感動しました

(折笠会長)

全国の会員からチョイスすることもいいかと思えます

経済研究所から引っ張ってくるのもいい

この業界の衰退原因として二代目(後継ぎ)がないということです

今後、この団体を去り、アウトサイダーになっていく可能性もあります

エリア内の協議会で支えあうことも必要でしょう

内容については、今後早急に絞っていく必要があります

ある程度の内容を、2月を目標に作っていきましょう

(小林副会長)

2月開催の本部理事会にあわせ、いくつかのリストをピックアップしていきます

内容の決議は、3月の東海ブロック協議会会議で決定したいと思います